

デンマークの行事

(1) 幼児洗礼 (Barnedåb)

法律では誕生 6 ヶ月以内に新生児に名前を付けて、国民登録を済ませなければいけないことになっています。普通は 6 ヶ月以内に幼児洗礼を行い、その時に名前を付けます。これは教会事務局か付近の教会で相談すれば、すべて便宜を図ってくれます。ちなみに、新生児に洗礼を受けさせない場合は、6 ヶ月以内に市役所の住民登録課に名前を届け出ます。

洗礼式は通例日曜日の教会礼拝と共に行われます。赤ちゃんには男女にかかわらず、真白で長いワンピースのような洗礼服を着せませんが、この服は、家族代々使った服が多いようです。この洗礼服を着て、初めて食事を取り、眠らなければいけないとされています。

赤ちゃんを抱くのは名付け親で、この人達はいざという時に両親に代わって養育を引き受ける、あるいは子供の精神的支えになると誓った人達で、往々にして両親より若い世代の兄弟、親友が選ばれます。

午後からのパーティーは他のお祝いと同じような形式で行われます。

プレゼントは長く持てる金、銀製の物が喜ばれますが、現在は服も多いようです。

(2) 結婚式の前の騒ぎ (Polterabend)

花婿は男性の友達だけで、花嫁は女性の友達だけで結婚式の前にパーティーを持ちます。昔は男性達が花嫁を、女性達が花婿を式の前日に誘拐してからかったそうです。現在は、翌日の式に支障ないよう、もっと前に行われます。心変わりしないかとおどかしたり、からかう一種のお遊びです。

結婚する罰として、突飛な事を要求します。例えば赤ちゃんの格好をして町中練り歩くとか、通りに立って歌を歌わせるとか、それぞれ友人達が一番突拍子もない罰を考えてくれます。

(3) 結婚式 (Bryllup)

市庁舎か教会のどちらでもできます。

式および披露宴の費用は、以前は花嫁の両親が持ちましたが、現在は本人達で持つのが普通です。

特に日本と違いませんが、花嫁の衣装に新しいもの、古いもの、借りたもの、青い物、と 4 つのものをつけるという習慣があります。花束を選ぶのは花婿の責任です。また、花婿はその前夜から式まで、縁起をかついで、花嫁を見ないようにします。

(4) 銀婚式 (Sølvbryllup)

結婚して 12 年半経つと本人達が、銅婚式のパーティーを開きますが、何とんでも 25 周年の銀婚式は、さらに大掛かりに、本人以外の人達により開かれます。まず本人の子供、親戚、友人達が企画実施するのが普通で、それも本人達にわからないように、こっそり準備するのが良いとされています。まず、家の玄関前に大きなポーチを飾ります。普通は手作りですが、リースもあります。こっそり飾るので、大抵どこかで仕上げておき、夜中に立てます。

結婚記念日の早朝 6 時半頃に、吹奏楽器の音楽家と共にこっそり集まった家族、友人達が、家の前でお祝いの歌を 2、3 曲歌い、本人達を起こします。それから、朝食パーティーが始まります。大抵は本人達も知っているのも、きちんと用意してあるのが現状です。ほとんどの人は仕事に行く前に参加しますので、大体 9 時頃にはお開きとなります。夜は本人達が、正式に晩餐会に前もって招待した人達と行きます。朝食パーティーは不意に訪問しても良いので、ちょっとしたプレゼントを持って参加すると喜ばれるでしょう。

夜のパーティーに招待されたら、フォーマルな服装で、プレゼントは特に銀に關係する物でなくても構いませんが、少し豪華な物を持参した方が良いでしょう。また、デンマークでは、よくプレゼント希望リスト (Ønskeseddel) を作るのも、遠慮なく聞いてみましょう。

(5) 満の誕生日 (Runde fødselsdage)

満 30 歳、40 歳、50 歳などの満になる誕生日を大々的に持つ習慣があります。大きいパーティーになると約 1、2 カ月前に招待状が来ますので、なるべく早く返事を出すと招待側は助かります。

服装は指定がなければ招待側に関しても構いません。プレゼントも本人、または、家族に開けば良いでしょう。

(6) 葬式 (Begravelse)

普通、教会に家族、友人知人のみが集まり、日本に比べると非常にひっそりと、告別式を行います。土葬の場合は、お棺を墓穴に降ろして土で覆われるまで見守ります。火葬の場合は、家族であってもお棺が教会から出されるまでしか見送りません。

その後、家族、友人だけで静かにお茶の時間を持ちます。

助言：香典の習慣はありませんが、霊前の花か花輪を持参します。

(7) サマータイム (Sommertid)

3月の最終日曜日に始まり、10月の最終日曜日を以って終了します。その年のカレンダーに *sommertid begynder* (サマータイム開始) と *sommertid slutter* (サマータイム終了) と書かれているのでチェックしましょう。3月の最終日曜日には時計を1時間進めます。10月最終日曜日には、1時間遅らせます。(仕事に早く行きすぎて呆然としないように！)

日本との時間差：夏7時間、冬8時間。